

第2次茨城県文化振興計画アクションプランの概要

計画推進のための基本的施策

<p>1 人材の育成等 (1) 文化の担い手の育成及び確保 (2) 次世代を担う子どもたちの育成 (3) 文化に関する教育の充実</p> <p>2 文化の振興 (1) 芸術の振興 (2) 伝統文化の継承及び発展 (3) 生活文化等の振興 (4) 文化を活用した地域づくり (5) 文化交流の推進</p> <p>3 文化的資産の活用等 (1) 文化的資産の活用 (2) 文化財の保存等 (3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮</p>	<p>4 文化活動の充実 (1) 県民の文化活動の充実 (2) 高齢者、障害者等の文化活動の充実 (3) 青少年の文化活動の充実</p> <p>5 文化活動の支援体制の充実等 (1) 文化情報の収集及び提供 (2) 推進体制の整備 (3) 文化施設の機能の充実 (4) 地域における文化活動の支援 (5) 財政上の措置 (6) 顕彰</p>
---	--

【進行管理】 ① 毎年度、本計画に基づく事業の実施状況等を調査し、文化審議会において事業効果の検証等による評価を実施
 ② 県民に本計画の進捗状況や事業の評価結果等を公表（年次報告書による）
 ③ 評価結果等をフィードバックし、今後の事業改善等に反映



I 人材の育成

1 課題

- ・子ども達が質の高い文化を鑑賞・体験する機会の充実。
- ・担い手の高齢化や後継者不足。

2 施策

(1) 文化の担い手の育成及び確保【8事業】

- 茨城県芸術祭(P1)
芸術創作活動の成果を発表・展示する県最大級の芸術祭。
- 文化芸術体験出前講座(P2)
学校や文化施設に音楽・伝統文化・美術・能楽・食文化の講師を派遣。

(2) 次世代を担う子どもたちの育成【4事業・再掲2】

- 近代美術館美術普及事業(P5)
県民の美術への親しみや関心を深めるため、普及活動を積極的に実施。

(3) 文化に関する教育の充実【4事業・再掲3】

- 県小中学校芸術祭開催(P10)
小中学生による美術展及び合唱・合奏大会の開催

3 主要KPI

①県芸術祭の参加者数（単位：人） ↑ 「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	26,000	35,000	36,000	37,000
実績値	16,824	26,311			
達成率	—	101.2%			

②関連事業の参加者数（単位：人） ↑ 「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	11,000	13,000	13,000	13,000
実績値	9,574	14,888			
達成率	—	135.3%			

4 評価等

・芸術祭では、新型コロナウイルス感染拡大防止に要する経費を補助し、コロナ禍においても継続して各催事を実施できるよう努めた。さらに、関連事業においては、県内のより幅広い地域で事業を実施することで参加者数の増加に努めた。

⇒ 感染症対策を講じながら、県民が文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、芸術家等の活動機会の確保と担い手の育成に努めていく。また、学校や文化団体等との連携を図りながら、子どもの頃から文化に触れる機会を提供し、鑑賞・体験の習慣化に繋げていく。

II 文化の振興

1 課題

- ・優れた創作活動に対して効果的な支援。
- ・伝統文化団体への発表の場の提供や魅力発信。

2 施策

(1) 芸術の振興【9事業・再掲1】

○県民文化センター管理委託(P13)

県民の文化芸術活動を支える拠点施設として、本県の文化芸術の振興と県民教養の高揚を推進。

(2) 伝統文化の継承及び発展【2事業・再掲2】

○伝統文化総合支援事業(P17)

伝統文化の保存継承に取り組む団体への発表機会提供等。

(3) 生活文化等の振興【1事業・再掲2】

○「茨城をたべよう」県産品販売・PR促進事業(P18)

県産農林水産物を食べて応援する地産地消活動の推進。

(4) 文化を活用した地域づくり【1事業】

○アーカスプロジェクト推進事業(P19)

公募によるアーティスト・イン・レジデンス等

(5) 文化交流の推進【5事業・再掲1】

○語学指導等を行う外国青年招致事業 (P20)

外国青年を学校や自治体に配置し、地域の国際交流を推進。

3 主要KPI

①県民文化センターの利用者数 (単位：万人) 「概ね期待通りの成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	40	60	60	60
実績値	13	34			
達成率	—	85.0%			

②伝統文化団体への発表機会提供 (単位：団体) 「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	15	30	35	40
実績値	11	24			
達成率	—	160.0%			

4 評価等

・①については、多種多様な舞台公演の実施や、新規利用団体への営業活動等により、令和2年度、令和3年度を上回る約34万人となった。②については、イベントでの出演機会の提供や、小学校での伝統文化体験会等の実施により、目標達成度は期待以上の成果となった。

⇒ 水戸市民会館が今年7月に開館したことを踏まえ、文化センターに何が求められているかを検討していくとともに、引き続き県民の発表機会や鑑賞機会の提供に努める。また、集客力のある施設での伝統文化団体の発表機会を確保し、担い手のやる気向上や県民が文化芸術に触れる機会の確保に繋げていく。

Ⅲ 文化的資産の活用

1 課題

- ・伝統的な文化財の適切な保存・公開・活用。
- ・公共の建物等の建築の際の文化的な特性への配慮。

2 施策

(1) 文化的資産の活用【再掲1事業】

- フィルムコミッション推進事業(P16)
ロケ誘致やロケ支援、ロケツーリズムの推進等。

(2) 文化財の保存等【2事業・再掲1】

- 県指定の文化財の修理・防災・伝承保存及び調査に対する助成や、埋蔵文化財の保存・管理、出土品を活用した展示・公開、体験学習等の実施。(P23～)

(3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮【1事業】

- 景観形成条例施行事務(P24)
公共事業等景観形成指針を運用し、地域の歴史的・文化的特性に配慮した公共の建築物の建築・改修を促進。

3 主要KPI

KPIの設定なし。

4 評価等

・主要事業において、KPIを設定していないため数値による評価はできないが、国や県指定文化財等を保存・保護していくために必要な補助等の実施や、埋蔵文化財の保護と普及啓発に着実に取り組んでいる。

⇒ 引き続き、文化財の保存や活用を進めていくことはもとより、文化的資産の再発見・再認識を通して、地域の魅力を引き出し、市町村等とも連携しながら、観光振興や地域振興に活かしていく。

IV 文化活動の充実

1 課題

- ・県民が文化への関心を高め、文化活動に触れられる機会の提供。

2 施策

(1) 県民の文化活動の充実【5事業・再掲4】

○現代茨城作家美術展（隔年）(P27)

本県を代表する作家の優れた美術作品の展示。

○移動展覧会(P27)

県美術展覧会に属する作家の作品を県内各所で展示。

(2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実【4事業・再掲1】

○元気シニア地域貢献事業(P28)

高齢者の知識や経験を地域に還元する人材バンクを創設。

○ナイスハートふれあいフェスティバル(P29)

障害のある幼児や児童生徒による美術展や学習発表会。

(3) 青少年の文化活動の充実【再掲2事業】

○県高等学校総合文化祭の開催(P10)

高校生による美術、音楽及び演劇の展示や発表。

3 主要KPI

①現代茨城作家美術展の入場者数（単位：人）

	2019(基準) R1	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	—	8,800	—	10,000
実績値	8,276	—		—	
達成率	—	—		—	

②移動展覧会の参加者数（単位：人） 「概ね期待通りの成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	4,000	5,000	5,500	6,000
実績値	3,198	3,506			
達成率	—	87.7%			

③(再掲)関連事業の参加者数 135.3% 「期待以上の成果」

4 評価等

・移動展覧会では、参加者数は目標には達しなかったものの、年間3回実施するギャラリートークの様子を動画で撮影し、YouTubeやいばキラTVに投稿することで、コロナ禍で展覧会に来られない方をはじめとする幅広い県民に対して、美術を鑑賞する機会の提供に努めた。

⇒ 文化施設や学校、芸術系教育機関のほか、高齢者団体、障害者団体、国際交流団体などの多様な主体を所管する関連団体とも連携しながら、高齢者や障害者、青少年など、県民誰も一人ひとりが幅広く文化芸術活動を身近に感じ、触れ、親しむ機会を提供していく。

V 文化活動の支援体制の充実

1 課題

- ・情報が多くの県民等に届くよう発信方法に工夫が必要。
- ・文化施設の老朽化対策を進めながら施設の機能を向上。

2 施策

(1) 文化情報の収集及び提供【10事業】

○広報紙の発行、ラジオ・新聞・インターネットによる広報。(P31～)

(2) 推進体制の整備【2事業・再掲1】

○文化審議会の開催や関連団体への助成等。(P35)

(3) 文化施設の機能の充実【14事業・再掲11】

○県民文化センターやアクアワールド茨城県大洗水族館の施設整備。(P35～)

(4) 地域における文化活動の支援【1事業・再掲4】

○助成金の案内やとりまとめ等(P43)

(5) 財政上の措置【1事業】(P43)

(6) 顕彰【2事業】(P44)

3 主要KPI

①各種媒体を通じた文化情報の発信件数(単位:件) ↑「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	290	360	430	500
実績値	212	291			
達成率	—	100.0%			

②(再掲)県民文化センターの利用者数 85.0% →「概ね期待通りの成果」

③アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数(単位:万人) ↑「期待以上の成果」

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	110	120	120	120
実績値	65	120			
達成率	—	109.0%			

4 評価等

・①については、ホームページやTwitter、県広報誌、YouTube、いばキラTV等を活用したことにより、目標達成率は100%となった。また②については、令和2年度の65万人、令和3年度の80万人を上回る120万人となり、当館歴代3位の入場者数となった。

⇒ 文化センターについては、各世代に鑑賞される公演をバランスよく開催するほか、新規利用団体への営業等により、施設の利用者の確保を図る。大洗水族館については、季節に対応した水槽展示内容の変更や、人気キャラクターとのコラボイベント等により集客強化を進める。